

ふじのくに芸術祭2024高校生短歌・俳句・川柳コンクール【短歌の部】

	賞	作 品	学校名	学年	姓
1	最優秀賞	誰よりもすべてを転んで立ち上がるいつかはなりたい女バレの守護神	県立田方農業高等学校	2	福岡
2	優秀賞	見上げれば凛とそびえる入道雲誰も知らない僕だけの城	県立天竜高等学校春野校舎	3	伊藤
3		紺色の絞りの浴衣袖通す襟の刺繍は母の旧姓	常葉大学附属常葉高等学校	1	杉山
4	優良賞	七月のつめたい川と暑い日が私に夏と呼びかけてきた	県立浜松湖北高等学校	1	伊與田
5		入学後対面式で自己紹介推しの名前を言ってしまった	県立沼津特別支援学校愛鷹分校	1	杉澤
6		曼珠沙華あの花咲いてまた燃えてカラスの影に溶けた赤色	県立島田高等学校	1	長田
7		あおむしが夕顔食べて蝶になる夢(はかな)さまとい次の旅へと	県立ふじのくに国際高等学校	1	中西
8	入 選	夏休みキッチンの母の鼻唄と時計の音が少し聴こえる	浜松学芸高等学校	2	櫻本
9		早帰り部活もないし予定もない右は近道左は寄り道	県立島田高等学校	2	鈴木
10		自習室待たせてごめんと言う君の黒く汚れた右手の小指	県立島田高等学校	2	杉本
11		最低だ断れなかったその言葉喜ぶ君と困る自分だ	県立島田高等学校	1	曾根
12		広大な青の舞台に風が立ちたなびく姿は白の踊り子	県立島田高等学校	1	内藤
13		ふと思ういつになったら辿り着く遥か彼方のなりたい自分	県立沼津特別支援学校高等部	3	鈴木
14		JR遅延し君と2人きりあともう少し一緒にいれる	県立田方農業高等学校	2	浮津
15		ヤマユリが崖の上から咲き乱れ天使の羽根が舞っているよう	県立天竜特別支援学校高等部	1	太蒼
16		ゴムぞうり忘れた頃に見つけたあの日の夏がよみがえる今	県立浜松湖東高等学校	1	彦坂
17		夏日にて一息つこうとラムネ飲む瓶を透かせば群青の空	県立静岡農業高等学校	3	山梨
18		グラウンド夕暮れ時に眺めては小さく見える汗かくあの子	県立静岡農業高等学校	3	村瀬
19		涼運ぶ風鈴の鳴る縁側で二人で分けたあの棒アイス	誠恵高等学校	3	笠井
20		新学期目覚まし鳴らず朝寝坊巻きで巻く髪君におはよう	誠恵高等学校	1	山田
21		窓際で塩素の匂い嗅ぎながらだんだん消える先生の声	浜松市立高等学校	1	藤本
22		寒空に奏でた音が響いてる積もった雪のように優しく	県立天竜高等学校春野校舎	2	藏元
23		筆筒開け姉の浴衣に母の帯受け継がれゆく愛も文化も	桐陽高等学校	2	伊倉
24		アボカドの種から根っこが生えてきた。成長気になる存在となる。	桐陽高等学校	2	小崎
25		和太鼓の長き響や盆踊り祭囃子の手の鳴る方へ	桐陽高等学校	2	増田
26		掛け声を響かせ友と跳ぶ縄は新緑の空に芽生えた絆	桐陽高等学校	1	田中
27		夏めく空君が咲かせたひまわりがどの花よりも輝いていた	桐陽高等学校	1	櫻井
28		大声で応援してる君の声誰より僕に届いているよ	桐陽高等学校	2	増田
29		家の前咲き誇る赤のハイビスカスついこの前は顔隠してたのに	桐陽高等学校	2	恩田
30		脳内で鳴り響いているセミの声夏の課題はまっ白のまま	桐陽高等学校	1	勝亦
31		夏祭り赤く染まったあの餡が夏を感じる十六の夜	桐陽高等学校	1	渡邊
32		お盆の日見えない祖父と親戚と集まり食べる流しそうめん	桐陽高等学校	1	持麿
33		飼猫のナツが寝転ろふ冷えた床冷たい部屋に夏来たみたい	桐陽高等学校	1	下山
34		夏になり暑い廊下で吹く楽器ピッチも私も狂ってしまう	県立清流館高等学校	2	黒澤
35		下校中空を眺めてペダル踏むオレンジ色に染まる夏空	県立清流館高等学校	2	石川
36		画面越し君の笑顔に手を伸ばし届かぬ想い夜に溶けてく	県立清水東高等学校	1	坂間
37		夏休み気持ち切り変え切る髪はコーヒーの色苦しい思い出	県立磐田南高等学校定時制	1	山崎
38		走り出すいつもと同じ御殿場線変わらない朝はじまりの朝	加藤学園高等学校	2	高橋
39		汗ぬぐいグリップ持つ手力こめさあもう一度振りかぶる今	県立池新田高等学校	2	水野
40		冷房をつけても続く熱帯夜共に汗かく私とグラス	県立浜松湖北高等学校	2	中村
41		夏の日に頼れる父と並んだ背だが変わりなく大きな背中	県立浜松湖北高等学校	2	鈴木
42		「また明日」そう言う君を引きとめて「まだ話そうよ」と言えずに帰る	県立浜松湖北高等学校	3	奥井
43		ボタン押しカセットテープが動き出す時代遅れのラブソングかな	県立浜松湖北高等学校	3	鈴木
44		今はまだ失敗恥もあるけれど数年後には笑える話	県立浜松湖北高等学校	3	鈴木
45		自信ある 言いきっていた友人と再び出会う再試合場	県立浜松湖北高等学校	3	海老塚
46		窓の外寝ながら見える星々は僕らのことも問わず漂う	県立浜松湖北高等学校	1	山田
47		背のびしてまだとどかない桜の木ひらひら落ちる幸せのかけら	県立浜松湖北高等学校	1	下村
48		きれいだなパシャリと撮るが感動は梓に収めず自分の中に	県立浜松湖北高等学校	1	加藤
49		ダイエット今日はやらん明日やるだって今日は唐揚げだもん	県立浜松湖北高等学校	2	森下
50		夕焼けの追う背が遠く届かずに一つの思い心に秘める	県立浜松湖北高等学校	3	高津